

2025年 図書館だより 7月

<図書館の開館について>

7月8日(火)まで 8時30分～19時までの通常開館

7月9日(水)～23日(水) 平日 8:30～16:30,
土曜日 8:30～14:00

*但し、学校休校日は閉館します。

*都合により、10日(木)は終日閉館です。

★夏休み長期貸出を開始しました。

返却日は、9月1日始業式、貸出冊数は、通常の2倍、10冊とします。読書は、動画と違って、自分のペースで内容を理解し、処理することができるので、読み終わった後、落ち着いた気持ちになります。活字が苦手でも、写真集や絵本などを眺めるだけでも、心が穏やかになる効果があるそうです。私は、出かける時には、いつも鞆の中に本を1冊入れています。隙間の時間に“ちょこっと”読みます。きりのいいところまで読めなくて、先がきになってしまうこともありますが、その方が印象深く頭に残るそうです。

「本が身近にある生活」を実践してみませんか(#^#)

★図書委員からのおすすめ本③を紹介します。

1年生図書委員のおすすめ本は、お昼休みのライブラリーアワーでも紹介されています。

★コンクールに応募してみませんか？

「読書感想文」「読書体験記」「一行大賞」などの、コンクールに参加してみませんか？自分の思いを文章にすることは、論理的に考える練習になります。ぜひ、「チカラ試し」をしてみてください。

1年生

図書委員からの おすすめ本③



『そしてバトンは渡された』 瀬尾 まいこ 著 文藝春秋

この本を読むと、当たり前にならぬにそばにいて、愛情を注いでくれる親に感謝の気持ちでいっぱいになりました。特に印象に残っているのは、主人公の二人目の母親の言葉。「優子ちゃんの母親になってから明日が二つになった。自分の明日と、自分よりたくさん可能性と未来を含んだ明日がやってくる。親になるって、未来が2倍以上になることだよ。」家族の形は様々で、実の母親じゃなくても、ちゃんと愛は育つということに気づけました。



おすすめポイントは、「ふつう」ではないことが、不幸なことではなく、幸せかどうかは自分自身が決めるというところ、人間関係は難しいというところです。登場人物の統理の言葉は、悩み事の解釈を変えてくれます。それぞれの心情が細かく、感情移入しやすいです。



『明日の世界が君に 優しくありますように』

汐見 夏衛 著
スターツ出版

おすすめポイントは、真波の心に変化です。引っ越し先で出会った、同級生・漣との言葉のキャッチボールがとてもテンポが良く、面白いです。



『魚服記』 太宰 治 著 立東舎

文豪の名作を人気のイラストレーターとコラボした、新しい作品です。どの作品も読みやすく、全部読破したくなります。



『母性』 湊 かなえ 著 新潮文庫

女子高生が転落する事件が発生した。これは事故か自殺か…、と世間が騒ぐ。母の手記と娘の回想によって浮かび上がる真相、「母と娘」を巡る物語です。母と娘それぞれの受け取り方や感じ方が違うことに驚きました。母の愛とは何だろう、と考えさせる作品です。



第71回青少年読書感想文コンクール

締切 令和7年10月2日 必着

校内締切 令和7年9月9日

注意事項 ・対象書籍は、マンガ、電子書籍以外の本。

・字数は 1801 字から

2000 字以内

他にも応募

できるコンクールがありますので、詳しく知りたい人は図書館カウンターに、お尋ねください！



コンクールに、応募しませんか!?

第45回高校生読書体験記コンクール

単なる感想文ではなく、読書をすることで始まった自分の内面や生活の変化、読後に起きた様々な変化を、自ら見届けられるような「体験記」を書いてください。

締切 令和7年9月30日(当日消印有効)

校内締切 令和7年9月9日

注意事項 ・どのようなジャンルの本でもよい。

(マンガ、絵本も可)

・400字詰めた書き原稿用紙 5枚以内

・作品は、未発表でオリジナル

新潮文庫第13回中高生のためのワタシの一行大賞

対象図書の中から、あなたの心に深く残った「一行」を選び、なぜその一行を選んだのかを100～400文字で書いてください。あらすじの紹介や、作品を解説するような読書感想文ではなく、できるだけ自分の“想い”や“エピソード”を書いてください。

*ここでいう「一行」は、字義通りの一行ではなく「一文」もしくは「ひとかたまりの意味をもった言葉の連なり」という意味です。

締切 令和7年10月1日(当日消印有効)

校内締切 令和7年9月9日

対象図書 : 2025年「高校生に読んで欲しい 50冊」「新潮文庫の100冊」選定作品